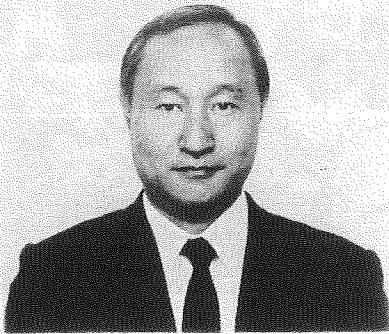


建設不動産部会報

第16号



より良きを求めて

㈱三橋庭園設計事務所

代表取締役

三橋 一夫(昭39・商)

日本の美意識の中には「欠陥の美」というのがある。不完全なものの中に、美しさを見つけ出す、ということである。お茶の世界では、花入れか茶碗など欠陥のあるものを繕って、それすら景色として楽しむ、ということは良くあることで、その繕いも美である、としている。

古来、中国や朝鮮では焼物などは、完全な形の物を良しとしてきたのに対し、日本では不完全なものの中に美しさを見つけ出し、趣きのある物として愛でてきた。日本人は何でも、これは日本独自のもの、と思いたがる悪い癖があるが、このような感性は日本独特のように思うがいかがであろうか。

庭造りにも同じようなテクニックがある。石組みでも植栽でも完璧に造ってしまうのではなく、どこかに一ヶ所、ボンと抜けている部分を創るのである。ホッと息がつけて目が上の方に移って行って青空を眺める、というような感じの部分の設けないと気持ちの休まらない庭になってしまうのである。音や光によって生ずる錯覚を美化してゆくことに庭造りの付加価値がある。これは多分に感覚的であり、心理的な要素である為に見る人には気がつかない。

庭と建物とは不即不離の関係にある。茶庭などは特に良い例である。約束事に則して使えるように作らねばならない。現代の建築にいかにマッチさせるかは、伝統ばかりを守っていたのでは仲々難しい。生活の中の庭にも思い切った造型を作ってゆくことが必要である。

かつて、「自分の人格以上の庭は造れない・・・のだよ」と教えられた時の悟りにも似た気持ちは生涯の座右の銘に出会った感がした。しかし、この認識も日常の忙しさの中で往々にして忘れ勝ちなのが恥しい。ここしばらくの間、私達が関係する業界ではバブルがはじけたと威勢の悪いこと甚しいが政治や経済の欠陥は願ひ下げにしたい。

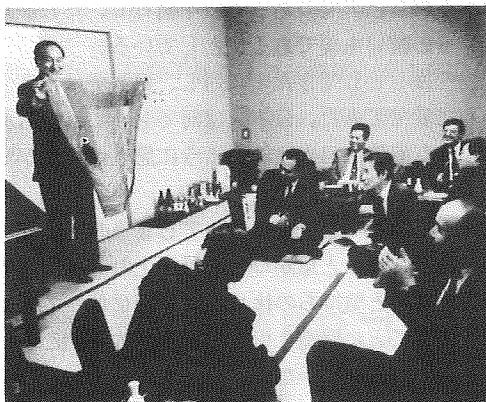
これらは仕組みの悪さの為もあるが、つきつめてゆけば、一人一人の人間の成せることである。政治家達の人格以上の政治は期待できない、ということであろうか、それも原因を正せば国民の人格や民度にあるのであろう。国民のレベル以上の政治は望むことが無理なのか、願わくばもっと大きな所に立って国の進む道を決めて欲しい。一体、この日本という国は何なんだ、と憂うることしきりの昨今である。

このように渾沌とした時期だからこそ、私達部会員は欠陥など生じないよう結束を固めて互いに切磋琢磨して行きたいと思う。

新年会



三橋さんのプロ級手品



新年会雑感

土金商事(株)

土金雅晴(昭41・商)

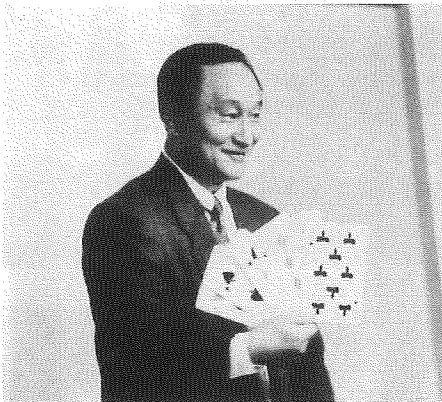
1年ぶりにみる顔々。この新年会に私は2度目の出席である。昨年入会後すぐに新年会があり積極的に全員に名刺交換させていただき、この1年の間にその内数人とやっとお付合いを始めさせていただいている新人です。土金(ドキン)という名前は名刺交換の際、相手も面白がってくれて私の名前はすぐ記憶してくれるのだが、50数名の名前と顔が一致せず、今年の新年会で又お目に掛けて随分に失礼をしたようで今年は余り動き回ることはしなかった。

グラフィティ

1月26日金「牡丹」に於て
新年会が催されました。
三橋さんのあざやかな手品
で盛り上がりました。



売上げ倍増のオークション
ありがとうございました



やはり手に職



永沼さんの元気な応援団

建設と不動産関係約400社という構成の集いは、同窓というよしみから何んとも具合のよい会でビジネスチャンスはもとより、人生の仲間として長い付き合いを願いたいものである。1人1人と早く仲良くお付き合いをしたいのだが、やっぱり交遊はゆっくりと進むのが実際に楽しみが又増した感じである魅力ある人達の集団である。

今回の新年会は新人にとっては面白い企画ではあるけれど皆さんと広く情報交換をするという観点からみると、なにかもう一工夫出来ないかというのが忌憚のない感想である。例えば1人ずつ対峙して数分話が出来るようにして順番よく回っていくような工夫はどうだろうか。余りにも変っていてそれはどうかといわれそうだが、是非一度とり上げて貰えないかと思っている。

今後、一生懸命会の為に奉仕させていただこうと思っている。よろしくお願いします。

『トステムハウジングプラザ東京見学会』見学記

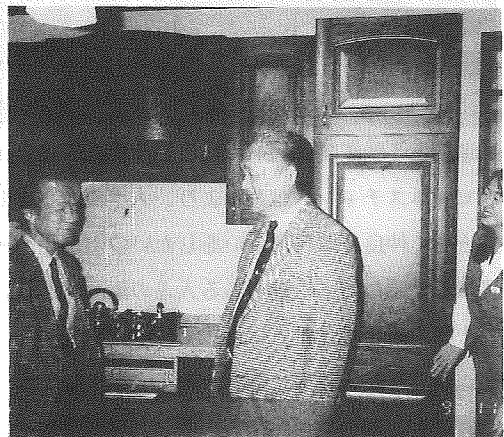
(勉強会兼懇親会出席記)

㈱エヌ・ティ・ティ・テレコムエンジニアリング関東
取締役 企画・事業部長
縫 部 隆 彦(昭40・商)

明大昭和会・建設不動産部会新入生の「ぬいべ」です。部会報第15号でご紹介していただいたばかりなのですが、広報の依頼により投稿と相成りました。あらためて、よろしく願いたします。



さて、見学記に移ることと致しますが、今回の企画は、トステム㈱の曾我純一氏(昭39・商)のご厚意で実現したとうかがいました。



日本一の大型ショールームに豊富にアレンジされた「リビングはかくあるべきやトータルシステム」の数々に、多くの参加者からエブリフロアで「！！」の連発、大いに勉強させられました。ありがとうございました。

さらに、見学会は第二部へと続き、和気あいあいのうちに、サッポロビールから特派された美人公認ワインアドバイザーの指導によるビールやワインの飲み方マナーの学習に加え、一流シェ



フの料理に舌鼓を打ちながら、「れりせりサービス」で盛会のうちに終了。

—— ウーン、満足！……で終わらないのが建設不動産部会の楽しいところ。

ハウジングプラザを出てからは、近くの「凡蔵茶屋」とやらで、全員賑やかにカラオケ大会と、久しぶりに不景気のストレスを吹き飛ばすことが出来ました。初めて参加させていただいた私もすっかりリラックスさせていただき感激の一日でした。

部会の皆様、ほんとうにありがとうございました。

次の企画が今から楽しみです。



於「トステムハウジングプラザ東京」 江東区大島2-1-1

都営新宿線「住吉」徒歩5分 TEL 5626-1001

勉強会兼懇親パーティーが、H5. 11. 13 に催されました。

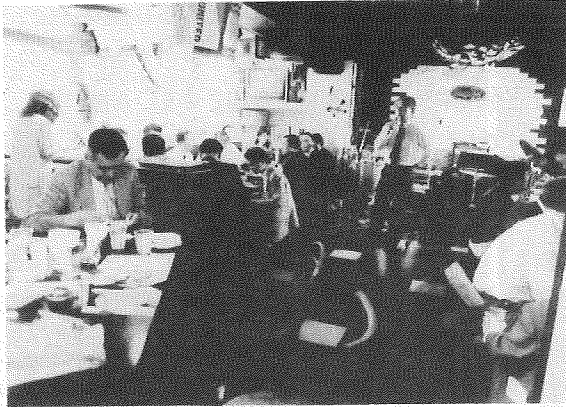
パーティーを忘年会にかえさせていただきまして、大雨にもかかわらず、多数のご参加をいただきました。

乾杯『ブラジル』

㈱川崎残土運搬協会
取締役総務部長

木村一郎(昭31・法)

何と原宿のまんなかでの情熱的なサンバとブラジル料理。広大な土地と暑さのなかで生まれ育った音楽と料理を同時に味わえて、とても楽しい一夜でした。ラテン音楽の大好きな私にとってサンバのリズムは心と体をうきうきさせてくれる最高の音ですし、バンドのお兄さん達の演奏、そしてセクソーで情熱的な歌姫の歌声は私、いや参加の皆さんを充分楽しませてくれました。更に口当りの良いサトウキビからできたテキーラ?みたいなお酒は暑い国らしく強烈で



したし、また料理は最後にでた白い御飯に味の無いアズキ汁をかけた何とも言えない変な食物を除いて、日本人の口にも合うおいしいものばかりで、参加の皆さんも楽しそうに食べていました。その証拠にお酒と音楽でのぼせ上った熟年のオヂサンやオバサンが同じ阿呆なら踊らにゃ損々とばかり踊りまくり、それも盆踊りだかルンバだか、わけのわからない踊りで、皆さん童心に戻って騒い

でいる姿は子供には見せられない。でも勿論私を含めてほんとうに楽しい一夜でした。



ところで私はブラジルに特別の想いがあります。私の伯父が戦前にリオの郊外のチエテという所に移住し、コーヒー栽培で成功し私の従兄弟達は今では弁護士、医師、公務員とリオ市内で大活躍しています。その伯父が戦後初めてのブラジルからの訪日第一陣として羽田に着いたのが私が高校生の昭和25年頃でした。当時ブラジルでは日本の勝利を信ずる勝組と敗戦を信ずる敗組に別れ、日本人同志が生死をかけて争っており、勝組に命を狙われながらの訪日でした。敗戦をこの目で確かめ、これからの日本の将来を見極める為、地球の裏側から三日かけてやってきたのです。丁度私は夏休みで抱持ちとして伯父と一緒に日本中を旅して歩きました。忘れられない楽しい思い出です。その伯父もこの世を去り、今では従兄弟達が交代で五年に一度位の割合で来日し拙宅に必ず一泊していきます。いろいろと話をする内で、印象的な発言として、まず彼等は一様に故郷



郷は日本でなくブラジルだと言います。日本人だけで故郷は生れ育ったブラジルであり、日本に帰る気持は湧いてこないということです。生れ育ったところが人の心の大きな拠り所であるということでしょう。更に日本は経済大国で、平和で豊かな素晴らしい国だけれど、人々の考え方や行動が今ひとつ大国らしくない、つまりグローバルでないと言うのです。言い換えると国際的には未成熟ということでしょうか。紙面の関係で細いヤリトリを語れないのが残念ですが身につまされる話です。そして又来るよと言って隣町へでも帰るように何気なく去って行く彼等を見ると、何か日本人は国際的にはまだまだ大人ではないのかなと思う今日此頃です。

固い話になりましたが、そういうわけでブラジル

は私にとって精神的に非常に近い国ですが今宵サンバを楽しみながら、遠い国の従兄弟達が久し振りに懐しく思えました。彼等が日本とブラジルのかけ橋として元気に、いつまでも活躍することを心から祈ると共に、私もいつかはブラジルを訪れ、本場の情熱的なサンバの踊りと料理を楽しみたいと思いつつ筆を置かせていただきます。最後にいつも御苦労を掛けている事務局の皆さんに感謝致します。



 * 於「プラザ・オンテ」納涼パーティー *
 * H 5. 7. 29 (木) 中村さんご紹介で、ブラ *
 * ジル料理とサンバを楽しみました。 *
 * *****

会員探訪

日産建設^{土木}営業部 理事・部長 山^{やま}田^だ佳^{よし}里^{のり}(昭32・工)
港区南青山1-2-6 ☎ 3402-8167

山田理事にアポをいれお伺いさせていただいたのは、9月初旬でした。以前、部会の有志によるハイキングへご一緒させていただいたこともあり、心安くインタビューを受けていただきました。

—まず、建設不動産部会に入会のきっかけをお願いします。

『明大校友会の世田谷支部に入っていて、その会の人の紹介でした。』

始めは昭代会に入っていたんですが、すぐ建設不動産部会が独立したので、そのまま移りました。』

—現在の部会の活動状況はどうでしょうか。

『事務局の鈴木さんを始め、よくやっただいただいていると思います。少し行事がマンネリ化してきているようなので、たまにはゴルフコンペや、1年に1回くらいは一泊で忘年会やセミナーをやってもいいのではないかと思います。また、有志を募って、海外旅行というのも面白いと思います。この夏に、有志でシベリアのエニセイ河へ行ってきました。校友会の世田谷支部では伊豆に泊まりで行っていますし、新宿支部ではハワイへ行ったようです。旅行に行くと、さらに親睦が深まりますので、今までにない連帯感ができていいと思います。』

また、昭代会の他の部会との交流会を年1回くらいやってほしいと思います。異業種の交流も昭代会全体の活性化につながるのではないかと思います。』

—会社のご紹介と、ご自身の社歴を伺わせていただけますか。

『設立は古くて明治38年、日立鉱山から起きた日本産業(日立コンツェルン)の1社です。日産懇話会の幹事会社「春光会」17社の1社でもあります。当社の特色としては、ニチイのマイカルグループに入っているので、あらゆる業種のニーズに対応できるということです。関東大震災のときに水道橋を作ったりしています。宮崎のフェニックスホテルなんかも、当社の施工です。』

私の社歴としては、32年に建築学科を出て、当社に入りました。広島支店をふりだしに尾道、因島、四国、山口、九州、島根、大阪と廻り、オリンピックの年に本社に戻り、オイルショックの時には官庁営業をしていました。昭和51年から61年まで水戸支店で副支店長をしていました。その後、本社に戻り現在に至ります。理事になったのは40代だったですから、結構早かったです。』

—その中で、印象に残る仕事をひとつ教えてください。

『そうですね、昭和33年に、まだ23、24才の頃、和歌山的那智勝浦の滝の源流でマイクロウェーブ施設のための林道造りをしました。山のダイナマイトをやり、バラボラを建て、中京、白浜方面へ電波を供給しました。全国で、知床に次ぐ難所といわれました。地域社会に貢献できる仕事ができ、満足しています。一度、家族で近くを旅行したとき、子供といっしょに見に行きました。』

—素敵ですね。では、そのご家族のことを披露していただけますか。

『妻と一男二女の家族です。息子は早稲田でラグビーをやっています、今はリクルートにいます。長女は東大農学部をでて、三菱商事に入りました。次女は獣医の卵です。そういうこともあり、家ではアフガンファンドと、トイプードルの二匹の犬とミケネコを飼っています。』

—ご趣味は。

『歴史や地理が好きで、海外を含めて、旅行によく行きます。台湾、韓国、フィリピン、香港、タイ、インドネシア、スリランカ、ロシア等々。酒も好きです。ウオッカが美味しかったですね。あと、たまにラグビーをやっています。』

—では、ご自身のモットーや、若い人達にご意見があれば、どうぞ。

『モットーは、私学らしく自由闊達で、命ある限り後ろを振り向かず前進したいですね。また、後輩達へは、一国の総理大臣を輩出した私学の雄なのだから、胸を張って頑張ってもらいたいと思います。いつかテレビで見ましたが、ラグビーの早明戦で某OBが、「明治は頭が悪いから負けるだろう。」とか、某俳優が雑誌で「明治はよそを落ちたものが来るので、劣等感を持っている。」とかいうのを見て、卑屈になってはいけない、誇りを持って生きてほしいと思いました。

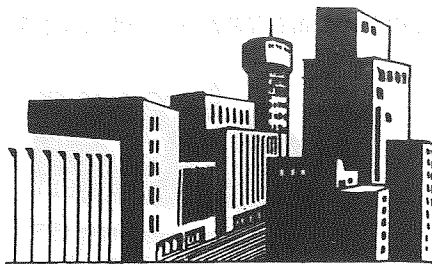
あとひとつ、これは、明治大学に望むことなのですが、総合大学を誇る明治なのだから、医学部もさることながら、工学部にぜひ土木学科を作ってもらいたい。そうすれば学習施設も建築学科のものを一緒に使えます。建築は点で土木は面だと思うのですが、地方のインフラ整備でも土木がメインですし、地方の長も土木出身者が殆どです。また役所の名称でも土木部の中に建築課があります。

なにより、OBが頑張ればいい学生も来るようになるのだから、もっともっと頑張らなければと思います。』

—今日は、貴重なお時間を、どうもありがとうございました。

インタビューを終わって、その情熱覚めやらん意気に、恐れ入りました。どこか覚めている若い人(自分も含め)には、貴重なご意見を賜ったと思います。

(記者・村上)



【投稿】

『釣り! 釣り! 釣り!』

エービーサイン

沼田 傑(昭46・営)

釣りを始めてもう何年になるだろう。小学校の頃から文字通り「フナに始まり」、明大在学中は、暇にまかせて釣りに励んだ。長い夏期休暇の期間中一日か二日を除いて釣りに狂い、漢字が書けなくなったり、冬の東北の港沖堤防上で吹雪に巻き込まれたり、とにかくキ印。4年の時には、卒業を記念して(実際は、この年留年してしまった。)九州は沖の永良部島へ釣り旅行で単身出発した。何故、永良部島かという、当時どうしても行きたいが行けなかった小笠原の父島と経度が同じという理由だった。

新宿京王デパート釣り具売場でワールド(今はないメーカー)のモロコ竿、ペン社6/0のリールに50号道糸を巻いて勇躍でかけた。意気込み程には、結果は釣れなかったが、島の人情に触れ、焼酎の味を覚えてしまったことだけは覚えている。

それから、月日は流れ、年号は変わり、平成4年3月20日、ついに父島への28時間の船上に立ったのである。

旅行の名目は、ホエールウォッチング。4人の子供のうち下の方の2人の小学生と女房と女房の父親とのファミリー旅行(どうして年をとるとこうカッコウつけるのでしょうか。本音は、釣竿と二人きりで行きたいのです。)父島の港に着くやいなや、観光は、女房達にまかせて目立たないように持ってきた小物竿を出して釣り三昧。とにかく釣れる。ムロアジの40cm近いのや、サヨリの50cm級等々。そして、海の綺麗なこと…………。

しかし何故か空しさを感じていた。それは、今まで大事にとっておいた夢が叶ってしまった空しさだったのです。

しかし、私はめげない。次はアラスカのサーモンダービーである(ここだけの話だが、長男のカナダ留学をOKしたのは、このための布石なのだ)。中年よ大志をいだけ!!



♥ 新規会員大募集! の、お知らせ

本部会も10周年を迎えることとなりましたが、先般400名の会員の内より連続5年間会費未納者の方々に継続の意思を確認させていただきました結果、100名程減少致しました。この機会に大々的に新規会員を募集致したいと思います。皆様の会社や取引先に明治の卒業生が居れば是非お声を掛けて当会へお誘いくださるようお願い申し上げます。特に、20代～30代の方大歓迎です。不況の今こそ、自己啓発にもなり、若い人達には交際範囲も広がるいい機会だと思います。軽い気持ちで、勉強会や新年会等にお誘い合わせの上、ご一緒くださるようお願い致します。

※右申込書をコピーの上、ご郵送下さるようお願い致します。

氏名		卒年 学部	
会社名			
役職			
所在地	〒		
TEL		FAX	
自宅住所	〒		
TEL			
出身地		出身高校	
趣味			
大学時代のクラブ サークル・ゼミ・研究室等		← 2.5cm (名簿用) 顔写真を 貼って下さい。 (既に送られた 方及び部会員 外の方は結構 です)	

♣ 合わせて、同好会発足および募集のお知らせ

この度ついに当部会に、趣味の仲間が集まり、それぞれの同好会を作ろうではないかということになり、10周年でもあり、趣味の同好会を発足・募集致します。まだ、事務局の中だけで募ったばかりなので、会員の皆様でこういう同好会を作りたいと思われる方がいらっしゃいましたら、是非事務局の方へご一報くださるようお願い申し上げます。今のところ、下記のもの候補に上っています。ご参加されたい方は、直接担当者か事務局へご連絡下さい。奮ってご参加下さるようお願い申し上げます。

同好会名	担当者(今のところ仮に事務局の人になっています)		
*釣り同好会	沼田 傑(46・経営)		
	エーピーサイン		☎3377-9910
*ハイキング同好会	鈴木 正彦(40・経営)		
	ラッキーコーポレーション		☎3370-8458

その他、ゴルフ・テニス・スキー・サッカー・ラグビー・野球・旅行・囲碁・将棋・麻雀・俳句・ジャズ・クラシック・盆栽・園芸・ダンス・車・映画・犬・美術鑑賞・歴史・カラオケ等々、その他なんでも結構です。同好の士を募ってみましょう。

♠ そこで又々、10周年企画大募集！

度々『10周年10周年』と、叫んでいます。いよいよ当部会も今年で発足10周年を迎えます。会員の皆様にはいつもお世話になっておりましてありがとうございます。校友会があるにも拘らず、よりフランクにフレキシブルにフレッシュな会になれればいいな、と頑張っております。

そこで、会員の皆様と一緒に10周年を祝うために、10周年企画を募集致します。例えば、温泉へ泊旅行でもいいし、大ゴルフコンペを催してもいいのではないかと考えています。その他、なんとかチャリティーや、記念講演会など、いろいろなアイデアをお寄せいただきたいと思いますので、事務局の「明大昭和会建設不動産部会10周年企画事務局」担当の方までご連絡下さるようお願い申し上げます。

「明大昭和会建設不動産部会10周年企画事務局」担当

企画部長 三橋 一夫(39・商)

三橋庭園設計事務所

☎043-257-1299

◇ 情報交換PRコーナーの設置!!

会員の皆様の仕事等でPRしたい事、是非こういう仕事でアクセス取りたい事等何でも募集します。皆様の積極的なご応募をお待ち致しております。

是非事務局・秋元宛迄お送り下さい。

〔事務局〕 〒151 東京都渋谷区代々木2-10-10

㈱ラッキーコーポレーション 事務局長 鈴木正彦(40・経営)
秋元道別(41・法)

☎ 03(3370)8458 FAX 03(3320)1653

編集 広報部

鈴木康弘(39・商) 柳沢克行(53・政経)
村上仁志(55・法) 内海佳人(60・法)